

◆現状と課題認識

○少子高齢化社会において、人手不足が深刻化している地方や中小企業ではデジタル化は急務であるが、それを進める人材は少なく採用に苦慮している。このため、現有人材をデジタル人材化するための教育が各企業で進んでいる。
 ○企業内研修とは異なり、民間企業や個人向けに学習の機会を提供するには複雑な仕組みが必要である。本学が計画する、①誰もが学べる環境を整備する、②人々が学びたいテーマの教育を準備する、③誰が何を学んだか知識が身についたか進捗を確認するなど、すべてを企業内で行うことは難しい。
 ○全ての講座をいつでもどこからでも受講できるようなオープンなデジタルユニバーシティの構築することにより、新たな雇用機会を創出し、地域に必要な人材確保の新たな展開を実現する。

◆計画の内容

①個別最適化され、創造性を育む学修への転換

○学習者たち一人一人に個別最適化され、創造性を育む学びの実現のための“新たな学び”をデザインする。また、未来社会を見据えて育成すべき資質・能力を育むための“新たな学び”やそれを実現していくための“新たな学びの空間（学修環境）”を形成するためにICTを効果的に活用する。
 ○さらに、ICTを活用することで、チームとしての企業の経営力を高め、研修の質の向上を確保する。

②効果的で効率的・魅力的な教育方法への転換

○カリキュラムを効率的に教えるために、学習者の特徴や与えられた環境、教育リソースなどを考慮し、最も効果的で効率的・魅力的な教育方法を選択する。そのことにより、実行と評価を繰り返すことで、授業の成果を高める。

③学習者における自律的なオンライン授業への転換

○教えない研修を実現するためには、自律的な学習者となることが重要であり、その自律的な学習者における自律的なオンライン授業を実現する。
 ○研修の目的は「教えること」ではなく、学習者が「自ら学ぶ」ことを手助けし、学習者に変化が起こることである。成果につながる行動変容できる人材育成のみならず、企業における「学修する文化」を広げる。

【令和6年度】

- ① **AI人材の養成**
 - ・ AI人材の養成に関する講座カリキュラムの開発
 - ・ e-Learning教材の開発
- ② **デジタルアーキビストの養成**
 - ・ デジタルアーキビストの養成に関する講座カリキュラムの開発
 - ・ e-Learning教材の開発
- ③ **学校DX戦略コーディネータ養成**
 - ・ 学校DX戦略コーディネータの養成に関する講座カリキュラムの開発
 - ・ e-Learning教材の開発

◆目的

- 地域産業や地域社会を担う人材確保のため、デジタル・グリーン等成長分野に関するリスキングの推進に資する「Multi Campus One Digital University」を構築し、地域人材の育成カリキュラムの開発・実践する。
- 「Multi Campus One Digital University」とは、DX（Digital Transformation）時代における“新たな学び”の創出により、デジタル技術を活用し、学びのあり方やカリキュラムを革新させると同時に、リスキング文化を革新し、時代に対応した新たなリスキング教育システムである。
- 本システムにより、全ての授業をいつでもどこからでも受講できるようなオープンなデジタルユニバーシティの構築することにより、新たな雇用機会を創出し、地域に必要な人材確保の新たな展開を実現する。

Multi Campus One Digital University構想

◆事業概要

地域産業や地域社会を担う人材確保のため、デジタル・グリーン等成長分野に関するリスキングの推進に資する教育リソースを開発し、地域人材の育成カリキュラムの開発・実践する。
 そのために、「Multi Campus One Digital University」とは、DX（Digital Transformation）時代における“新たな学び”の創出により、デジタル技術を活用し、学びのあり方やカリキュラムを革新させると同時に、リスキング文化を革新し、時代に対応したリスキング教育システムを構築する。

大学教育推進会議

Multi Campus One Digital University構想の実現

